

平成25年度「基礎・基本」定着状況調査の結果について

「基礎・基本」定着状況調査とは

広島県の小学校5年生と中学2年生を対象に実施します。中学校では 国語，数学，英語の3教科の学習調査と生活について調査します。（平成14年度から）

全体結果(学習面)

| | 国語 | 数学 | 理科 | 英語 |
|-------|------|------|------|------|
| 美鈴が丘中 | 67.9 | 69.0 | 40.7 | 73.7 |
| 広島市 | 68.8 | 65.1 | 36.8 | 67.8 |
| 広島県 | 71.7 | 69.0 | 39.9 | 72.1 |

広島県や広島市と比較すると課題点も見られ、基礎・基本の定着に向けて継続した取り組みが必要です。4教科の中では、理科と英語の通過率は県・市を上回っています。

今後は教科・領域ごとの指導計画を中心に、学校全体で基礎学力の定着に努めていきたいと思います。

各教科の分析

【 国語 】

領域ごとの平均通過率（％）

| | 聞くこと | 書くこと | 読むこと | 言語事項 | 総合平均 |
|-------|------|------|------|------|------|
| 美鈴が丘中 | 89.8 | 37.5 | 68.6 | 71.7 | 67.9 |
| 広島市 | 89.9 | 44.1 | 67.5 | 73.2 | 68.8 |
| 広島県 | 91.3 | 49.6 | 72.1 | 75.6 | 71.7 |

改善する指導内容及び方法

文法学習の充実を図り、主に、主語述語の関係、接続詞のはたらきをしっかり理解できるようにする。

文章中の表現技法について、授業内での確におさえ、理解を深める。

【 数学 】

領域ごとの平均通過率（％）

| | 数と式 | 図形 | 関数 | 資料の活用 | 総合平均 |
|-------|------|------|------|-------|------|
| 美鈴が丘中 | 74.1 | 73.0 | 59.1 | 70.5 | 69.0 |
| 広島市 | 70.2 | 68.7 | 60.7 | 69.3 | 65.1 |
| 広島県 | 74.5 | 72.6 | 63.8 | 71.0 | 69.0 |

改善する指導内容及び方法

いろいろな数量を文字で表したり、表された文字式の意味を読みとったりする活動を多く取り入れる。その際には、具体物を用意し、小グループで多様な考えに触れさせるようにし、図と式を関連付けながら考えることができるようにする。

具体的な事象の中野2つの数量 x ， y について、 y が x の関数であるかどうかを見いだす活動を行う。その際には、小グループで具体的な数を x に当てはめて、 y が1つに決まるかどうかを確認する活動を取り入れ、関数の意味を一人一人が理解できるようにする。

【 理科 】

領域ごとの平均通過率（％）

| | 生物 | 化学 | 物理 | 地学 | 総合平均 |
|-------|------|------|------|------|------|
| 美鈴が丘中 | 53.9 | 45.0 | 30.5 | 33.4 | 40.7 |
| 広島市 | 54.0 | 40.7 | 28.2 | 24.3 | 36.8 |
| 広島県 | 57.2 | 45.1 | 30.7 | 26.8 | 39.9 |

改善する指導内容及び方法

観察・実験において、得られた結果から考察を考える作業を個人だけでなく小グループでも行い、結果や資料と関連付けて考えられるようにする。

学習する現象や法則などを、理由をつけて説明することができるよう、小グループを活用しての活動を取り入れる。

【 英語 】

領域ごとの平均通過率（％）

| | 聞くこと | 読むこと | 書くこと | 話すこと | 総合平均 |
|-------|------|------|------|------|------|
| 美鈴が丘中 | 81.3 | 76.1 | 66.2 | 82.0 | 73.7 |
| 広島市 | 73.9 | 70.4 | 58.4 | 81.5 | 67.8 |
| 広島県 | 77.0 | 74.2 | 66.0 | 83.4 | 72.1 |

改善する指導内容及び方法

教科書の本文を扱うときに、1文ずつ訳していくのではなく、ある程度のまとまりで読ませ、内容理解の質問を、英問英答で答えられるような課題を課す。

自己表現で使える単語や表現について日々の授業で指導し、生徒の語彙力の向上を図るとともに、英作文する機会を定期的に取り入れることで、英語で自分の考えを表現する力を養う。

<生活と学習実態の結果>

「学校へ行くのが楽しい」と思っている生徒は87％で、朝食摂取率も95％、起床・就寝時間も一定であり、大多数の生徒が規則正しい生活を送っている。

学習習慣のカテゴリーでは、広島県平均と比較して割合が高い項目は、「学習を最後までやりとげてうれしかったことがある」「分からないことはそのままにせず分かるまで努力している」となっている。「分かるようになりたい」と考えて学習に取り組んでいる生徒の割合が多い。

思考力、表現力のカテゴリーでは、全ての質問項目が、県平均よりも高くなっている。「相手や目的に応じた話し方をしている」「なぜ、そうなるのか、理由をつけて話している」などの割合が高くなっている。

本校では、「学び合い 聴き合う授業」に取り組んでおり、授業の中に小グループで話し合い活動も取り入れていること等の効果の表れと考えられる。

自己実現力・自己効力感のカテゴリーにおいても、「自分にはよいところがある」「自分のよさはまわりの人から認められていると思う」などの割合が高くなっており、多くの生徒の自己肯定感は比較的高いと思われる。